

科目名	キャリアデザイン						年度	2026	
英語科目名	Carrier design						学期	後期	
学科・学年	応用生物学科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	森内 寛	教員の実務経験		無	実務経験の職種				

**【科目の目的】**

応用生物学科から就職を目指す業界である医薬・化粧品、食品、環境管理分野について、各業界の関連基礎知識を学び、正社員として働くとはどういうことかを知り、考えます。  
就職試験に必須の筆記試験対策（SPI）を行い、足切り点にかからないよう国語・数学の基礎知識を身につける。  
社会人としての基本的なマナー、コミュニケーションなどを身につけます。

**【科目の概要】**

専門教育を生かしたキャリアデザインを考えます。

**【到達目標】**

- A. 授業にはすべて出席する必要がある。体調管理を万全に整え、遅刻欠席のないように務めることができる。
- B. 自己分析、職業興味、自身の強みなどについて知り、就職試験に合格できる履歴書を作成できる。
- C. 業界分析・企業分析の基礎について理解し、興味のある分野を探索することができる。
- D. 就活生の筆記試験（SPI）の平均点は概ね6割程度であるため、最低6割は得点できる国語・数学の基礎知識を身につける。
- E. 社会人としての基本的マナー（丁寧な言葉遣い、礼儀作法）を身につけ、実行できる。

**【授業の注意点】**

授業内での小テストなどで理解度を確かめながら進める。服装、礼儀作法などはロールプレイングなどを行って身につける。授業時数の4分の3以上出席しない者は成績判定を受けることができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	本科目の授業に無遅刻・無欠席である。	本科目の授業に1回だけ遅刻した。	本科目の授業に2回以上遅刻または1日欠席した。	本科目の授業に3回以上遅刻または2日欠席した。	本科目の授業に3日以上欠席した（出席時数の4分の3以上出席していない）。
到達目標 B	自己分析、職業興味、自身の強みなどに深く知り、自己PRが行える程度の履歴書を作成できる。	誤字脱字がなく、自力で履歴書の書き方ができて作成できる。	教か所の誤字脱字が見られるが、自力で履歴書の書き方にしたがって概ね作成できる。	教員の対面指導により履歴書が概ね作成できる。	教員との対面指導によっても履歴書を作成できない。
到達目標 C	自身で興味関心のある業界や企業について調べ、就職活動のスケジュールを組むことができる。	自身で興味関心のある業界や企業について調べ、分析をすることができる。	教員がヒントを与えることにより業界や企業を調べることができる。	教員との対面指導により業界や企業を調べることができる。	教員との対面指導によっても就職を目指す業界や企業を調べることができない。
到達目標 D	筆記試験（SPI）が8割以上得点できる。	筆記試験（SPI）が7割以上得点できる。	筆記試験（SPI）が6割以上得点できる。	筆記試験（SPI）が5割以上得点できる。	筆記試験（SPI）が5割未満の得点しか獲得できない。
到達目標 E	会社訪問で丁寧な言葉遣いや礼儀作法を行うことができ、自身の考えを相手に伝えることができる。	会社訪問で丁寧な言葉遣いや礼儀作法を間違えることなく行うことができる。	若干の誤りはあるが、自身で丁寧な言葉遣いや礼儀作法を行うことができる。	教員との対面指導により丁寧な言葉遣いや礼儀作法を行うことができる。	丁寧な言葉遣い、礼儀作法を身につけていない。

**【教科書】**

「キャリアサポートブック」

**【参考資料】**

必要に応じて、プリントを配布する。

**【成績の評価方法・評価基準】**

課題や授業内に行われる発表、積極的な授業の参加度など総合的に判断し評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		キャリアデザイン			年度	2025	
英語表記		Carrier design 1			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	就職活動の準備①	キャリア形成の考え方や豊かなキャリアデザインを学ぶ。	1	なぜ働く必要があるのか？	働くことの意義について考え、キャリアデザインに生かすことができる。	1	
2			2	本学科での学びとキャリアデザインの関わり	本学科での学びを自らのキャリア（生き方・働き方）と関連づけることができる。	1	
3	就職活動の準備②	面接試験で重要な礼儀作法について学ぶ。	1	服装と礼儀作法	就職活動における服装・礼儀作法について知り、実際に行うことができる。	1	
4			2	話し方の基本と敬語	就職活動における話し方と敬語の使い方について知り、実際に行うことができる。	1	
5	自己分析①	自己分析、職業興味、自身の強みなどについて知る。	1	自己の深掘り	自分自身の価値観を深掘りして、雇用のミスマッチを防止する。	1	
6			2	職業適性	職業興味と適性を知り、選択肢を広げて考えることができる。	1	
7	自己分析②	履歴書を作成する。	1	履歴書の書き方	履歴書のフォーマットを知り、何について書けばよいのかを知る。	1	
8			2	履歴書の作成	実際に履歴書を作成して、就職活動に使用出来得るレベルまで仕上げる。	1	
9	就職試験対策①	筆記試験（SPI）の足切り点にかからないよう国語・数学の基礎知識を身につける。	1	SPI対策（国語）	SPI対策（国語）を行い、目標とする企業の足切り点に引っかけられないような得点を獲得することができる。	1	
10			2	SPI対策（数学）	SPI対策（数学）を行い、目標とする企業の足切り点に引っかけられないような得点を獲得することができる。	1	
11	就職試験対策②	筆記試験（SPI）の足切り点にかからないよう国語・数学の基礎知識を身につける。	1	SPI対策模試	模試を実施し、時間内に解答できる能力を身につける。	1	
12			2	模試の解説	模試の解説を行い、得点できなかった分野への理解を深める。	1	
13	業界研究	業界研究を行う。	1	業界研究①	業界説明会に参加し、業界業種の基礎知識を知り、就職を目指す分野への理解を深める。	1	
14			2	業界研究②	業界説明会に参加し、業界業種の基礎知識を知り、就職を目指す分野への理解を深める。	1	
15	まとめ	第1回から14回までの内容を総復習する。	1	第1回から14回までの内容を総復習する。	第1回から14回までの内容を理解している。	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等